



住宅部門
事例

09

空き家利活用コンテスト2023 優秀賞（ベストDIY賞）

SHIKANO HomeSTAY(吉井邸)

家族と地域、宿泊客とのつながりを生む
DIYリノベーション



別荘として利用されていた売却希望物件。築年数も古く家中が暗い印象だった。しかし購入前の短期間、貸し出されていたこともあり、全体的に手を加える必要があるものの、備品の入れ替えや清掃にかかるコストは決して大きくないと感じ、移住者に人気の鹿野エリアで一軒家を購入しリノベーションすることを決意。コストを抑えるためDIYを中心とした改修プランに。慣れるまで苦労はあったが、地域の方々や家族の協力もあり、コストを大幅に下げることが成功。さらに、DIYを通じ地域の方々、子どもとも一緒に家づくりを楽しむことができた。宿泊客や家族が快適に過ごせるように設けた広いリビングを交流スペースに。県外・海外の方が泊まれる民泊スペースや、さらにはリモートワーカー向けのワークスペース、地元食材を使った料理体験ができるシェアキッチン・パントリーなど、交流を生み出す多彩な空間ができあがった。また、子どもの成長に合わせた部屋の利用も見据えた改修をしている。家族と地域、宿泊客とのつながりを大切にしているリノベーションを実現した。

1年かけてDIYでリノベーション。元々の間取りである和室と洋室の壁を取り払い、広いリビングを実現。強度や構造に配慮するため建築士のアドバイスを受けた。DIY施工中は地域の方々が気にかけてくれ、工具や差し入れを提供してくれた。あたたかな交流により生まれた空間だ。



白基調の広々としたフローリングの部屋に。元々の木材をそのまま活かしたり、塗装したりして仕上げた。



キッチンの構造は大きく変更せず、タイルや床マットを貼ったり色を塗り替えた。こちらもリビングに合わせ、白基調に統一した。



和室だった部屋を洋室にリノベーションした。天井や壁、床の塗装などすべてDIY施工。





ランドリーやバスは全て撤去し設置。洗面台はこだわりの一枚板でDIYを行うなど随所にオーナーのこだわりがある。外壁やヒビ、欠けもDIY修理。「そのうち屋根も塗りたい」とDIYはこれからも続く。

[DATA]



【所在地】鳥取市鹿野町 【構造】木造2階建て
 【築年月】1978年 【改修後の用途】住居、民泊
 【間取り構成】個室5室・キッチン・トイレ2ヶ所・風呂
 【改修期間】2022年3月～2023年2月
 【改修費用】約500万円